

第 10 回議会報告会における市民意見・要望等について

第1班:本庁地区(牧志駅前ほしぞら公民館)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
新市民会館建設候補地の決定までの主な経緯について、平成25年4月から5月の間、国際通り周辺での意見交換会について実施したのは、国際通り商店街の4つの通り会の代表者、沖映通りの代表者、美栄橋商店街の関係者と当時の市長との意見交換は実施されている。 しかし、国際通り周辺の主な通り会等の意見交換はなされないままにされている。 そのため、現在の立地に関しては、今でもこの那覇のまちぐわーエリアの方々からは、本当にこの立地でいいのか、また交通渋滞を誘発されるのではないかと、本当に中心市街地の活性になるかという現場の強い懸念の声が今でも続いている。 立地については再度、市長も出席したもとで中心市街地エリア関係者と地域の意見交換会をやってもらいたい。	当時、市民会館がある場所と移る場所という、単純な感覚で、その場所、場所の皆さんにご説明という形での話をしてきたのかなと感じます。 ご指摘のとおり、全体のエリアを見た場合に、公設市場、そして通り会の皆さんが、意見交換会から抜けていたということは非常に大きいと思いますので、今後こういったことがないように、先日の新市民会館説明会（当局開催）も踏まえながら、しっかりと目配りして対応するよう、我々のほうからも行政のほうに指摘し、申し入れをしたいと思います。
平成 29 年度から平成 33 年度にかけての事業の中に、大型公共事業は2つ類似しているのがある。 1 つは第一牧志公設の再整備事業、2 つ目は沖縄県の事業でむつみ橋交差点の暗渠の改良工事である。 これらの事業について、今後中心市街地エリアがどのぐらい影響を受けるかについて、専門家も入れて議会でも精査してもらいたい。	県の工事と那覇市の工事、所管が異なり、当局から事業計画についての説明もまだなく、市と県が事業の進捗具合など、すり合わせしないとわからないが、議会であずかって皆様にどのようなお答えが出来るか精査していきたい。
希望ヶ丘公園、そして市場内の松尾公園は避難地域になっている。何度か避難訓練をしたことがあるが、希望ヶ丘は、近くの国際通りからも入れるのに、非常に道が狭く、階段になっており、急だし、とても高齢者たちが避難するには無理な地域になっている。 その公園を、前から話をしているが、全然改善せず、あのままの状態がいつまで続くのか思っている。公園として使うのか、避難地域としても見てもらえるのか、考慮してほしい。	公園というのは、国や県の予算が入ってきているので、他の用途に使うというのは法律上なかなかむずかしいが、公園としてしっかり整備し、合わせて避難所としての場所がしっかり整備できるよう、所管課に伝えておきます。

第1班:本庁地区(牧志駅前ほしぞら公民館)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
新都心公園駐車場の不正利用が減った一方で、公園駐車場付近に路駐(不正・違法駐車)する車が増えた。特に住宅の近くに多くて困っている。 住宅付近の歩道に車をとめる人も多く見られ、事故やトラブルのもとになる。 無神経な違法駐車や乗降があり、いつ事故が起こってもおかしくない状況になっている。 新都心公園駐車場の有料化は3年間の実験と聞いているので、その実験終了後機械を撤去してほしい。要望2として、公園の道路側にある木々をなくして入庫待機所をつくってほしい。要望3、現在閉鎖している入り口も入庫できるようにしてほしい。	新都心公園駐車場が混みだした背景の一因として、有料化、サッカー場の整備ができ、大会が行われるようになったことなど、様々な要素が複合しているのかなと思います。 現在の無人化から、有人化をできないものかどうか、業者と役所とも話をして、考えないといけないかなと思ってます。 きょう一旦引き取って、きちんと皆さんの地域が住みやすいように頑張っていきたいなと思います。 補足：議会報告会後の調査結果 平成30年3月、建設委員会において調査を行い、担当課から次のことを確認しました。 ・要望1について 公園入口の機械（駐車場有料化）については、公園を利用しない人の長時間利用を防ぐ効果が出ているため、撤去するのではなく、バーを速やかに開くようにする、もう少し奥の方に下げるなど、工夫できることを検討したいと考えています。また、バー式のものではなく、個別の駐車場にフラップ式機器を設置する方法については、大きな駐車場では維持費や管理費が大きくなってしまうため、バー式を継続して、改善できる点を検討していきたいと考えています。 ・要望2について 公園道路側の植樹帯の一部を削り、駐車場入庫待ち車両のための待機場にできないか検討しています。そうすることで一般車両の通行スペースを確保できるのではないかと考えていますが、緑地も残しながらどのように待機場もつくれるのか、全体的なバランスもみながら取り組んでいきたいと考えています。 ・要望3について 現在封鎖している出入口が2カ所あり、合計3カ所ある出入口を、要望1のバーの場所や要望2の植樹帯の待機場への変更なども合わせ、全体的な検討を行い、今後出入口としてどのような組み合わせが有効なのか、検討していきたいと考えています。

第1班:本庁地区(牧志駅前ほしぞら公民館)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
新市民会館や、のうれんプラザなど、疑問を抱いている市民は多い。議員が議会でしっかり討論し市長に訴え、協働というものをもっともっと深く深くやっていかないといけないのはできません。	それぞれの議員が承って、議会の中で問題提起などをしていきたいと思います。
新市民会館の交通処理について、一度に多数のピストンバスが重なってきた場合など、具体的な交通処理の方法を検討願いたいと思います。	ご指摘にあったようなシミュレーションをしているのかどうか、検討はされているのか、そのような声があったというこを含めて当局に伝えたいと思います。
農連プラザの事業経営責任者は誰なのか明確にしてほしい。	これは那覇市農連市場地区消防街区整備事業組合がスタートです。そして那覇市も都市の再開発事業ですから十分かかわっています。 市場棟の営業に関すること、これは新たにのうれんプラザ運営室というをつくっています。そこでどういう業者を入れるか、いろいろと企画をされています。 ご指摘、大変重要ですので、主管の担当課にも十分伝えておきたいと思っています。

第1班:本庁地区(牧志駅前ほしぞら公民館)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
投票率の低さや、これまでの議会報告会の参加者の少なさなど、政治への関心度が非常に低い。 もう少し政治への関心度を高めるためには、ともにどうやっていったらいいのかという部分をみんなで考えて、ここをなんとかよくしていけるようにしたいなと思います。	議会報告会については、広報参画部会という部会で検討をするのですが、どのように議会報告会を開催したらいいか、毎回喧々諤々、議論になります。例えば今回は4カ所でやりますけども、中学校区に増やして、この人数（班員）を半分にして場所をたくさん増やすなど、いろいろ変えたりはしています。まだもう少しかかると思いますが、新たな議会がスタートしたばかりですので、さらに皆さまの意見も聞いて、どのようにすれば関心を持っていただけるか、そして議会報告会にたくさん集まっていたらいいか、もっと真剣に議論して検討していきたいと思っています。
国民健康保険の事業に関して、今年で約5億7,000万円の赤字というのがあって、累積赤字もかなりあると聞いており、かなり市の財政に占めるネガティブの影響というのは大きいと思う。その中で30年度から県に移管されることに決まっているということなのですが、このまま県に、赤字を含めて全部持って行ってもらうのかとか、各個人への支払代金というんですか、月々の加盟料（保険料）にも影響してくるのと、あとこれだけ赤字があると県が引き取らないんじゃないかとか、どうやって支払うのかという具体的な案を考えられているのか。	国保赤字の原因は、沖縄戦で地上戦を経て多くの方が亡くなり、前期高齢者、65歳から74歳の割合が低いという沖縄の特殊事情があります。この問題は、那覇市だけではなく41市町村、大変苦慮しています。 それをどう解決していくかという中の1つに、一括交付金の活用を含めて全市町村の責任で国に要望したらどうかとか、先ほど申し上げましたように沖縄の特殊事情であり、全国と違うわけですから、国のほうで特別措置、何らかの法律でもつくって、対応していただきたいということを、県内11市の国保担当課長と県で構成している、市国民健康保険研究協議会というのがあるんです。そこで今一生懸命勉強して国に要請をしています。解決方法は、那覇市だけじゃなくて41市町村、また県も一緒になって解決に向かおうと何度か要望もしているところです。

第1班:本庁地区(牧志駅前ほしぞら公民館)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
レンタカーが事故を起こし、警察が出動し渋滞が発生し、その渋滞に消防車が巻き込まれて到着が遅れるということも考えられる。 救急車が、渋滞で遅れているというのは具体的にどのぐらいあるのか。	レンタカーの増加は渋滞の一因はつくってはいると思うのですが、今のところそれに伴って大変な事態になったという報告は聞いておりません。 私たちが求めているのは、事故や急病者に対応できるよう、中核市比較で3隊足りない状況の中、せめてあと1隊は増やそうじゃないかという提案をしており、当局もその方向で検討をしております。
レンタカー税というのを導入し、環境とか、外国人に対する外国語の看板の拡充だとか、あとパンフレットの整備だとか、外国語での地図とかということで使ったりというのも検討されたらいかがかなと思います。	ご意見として私たちも勉強させていただきたいというふうに思います。 ※観光税（県税）検討との新聞報道がありました。
お年寄りが元気にはつらつと社会に必要とされて社会参加できると、そういうまちづくり、仕組みづくりをやっていくことで地域経済を盛り上げていくということは、これからぜひ検討していただきたいですし、ぜひぜひそこに市民協働ということでやっていただきたいと思っています。	ご意見として承ります。
前島小学校と久茂地小学校の統廃合のノウハウを今後に残すために、ぜひ会議というか、ミーティングを開いてほしいなと思っています。将来的にこの統廃合を負の遺産ではなくて、プラスにしてノウハウを残していったほしいと考えています。	ノウハウは行政にちゃんと残っています。同じような問題が、またどこかで起きると思いますので、これをしっかり生かして取り組んでいくという姿勢を議会として当局に強く要望していきたいと思っています。

第1班:本庁地区(牧志駅前ほしぞら公民館)

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
決算の見せ方：①部局別の歳出状況も提示してほしい ②当初現額+補正額+執行額+繰越額←不用額という見せ方も必要 ③一括交付金について執行率も明にしてほしい 質疑のあり方：時間の関係もあるかと思いますが、多少延長してでも質問は受けるべきと思います。	・決算の見せ方について 参加された皆さまが分かりやすい内容にできるよう努めて参ります。 ・質疑のあり方について ご意見として承ります。
市民会館は現在の場所がよい 久茂地小学校土地は売って、民間にやってもらえばとってもいいと思うがいかがが。	参考意見として承ります。
新事業のことは多く時間を取るが、旧の事業の件にももう少し力を入れてもらいたい。	那覇市議会の中でも、議会報告会のテーマについて議論を重ねています。 ご意見として承り、今後も議論していきたいと思ひます。
市場や商店街で議員の方が散策しているのを見かけます。視察を兼ねて市場の方とゆんたくしているのを見ると親近感を覚えます。 もっと多くの議員の方もお客様目線でマチグァーの足りない部分を聞かせていただきたいです。 ※マチグァーで働く人達も政治に関心を持ってもらうためにも希望します。	ご意見として承ります。
決算を認定しなかった場合は、その後どうなるのですか。ストーリーはありますか。	法的拘束力はありません。
市場の建替えは、市民の税金ですか？民間の開発と捉えたら、のうれんの開発、ホテルの開業とかあるので、それと同じではないか？	ご意見として承ります。
一部長時間質問、意見具申する人が多く、運営と、司会方法を改善すべき。	ご意見として承ります。
農連市場に建設される4階建ての駐車場について、建設に反対する所有者がいるが、どうなるのか。	駐車場の建設について、現在のところ議会には反対の声は挙がってきていませんが、市当局に説明を求めて、権利者の方に納得していただけるような形でこの事業を進めるよう、議会としても、市民のみなさんとの調整をチェックしていきたいと思ひています。

第2班:小祿地区(JA小祿)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
北朝鮮からのミサイルについて、避難訓練など那覇市としての対応はどうなっているか。	北朝鮮の問題については、国政に関することですのでお答えすることはできませんが、それに限らず自然災害を含めた避難訓練を行っており、執行部は大災害時の対策本部として那覇市議会の議場を使用して訓練を行っています。
就職先の一つとして、自衛官の広報をお願いしたい。	自衛官に関わらず、魚屋さん、バスの運転手さん、IT 企業など那覇市の就職を希望する方がしっかりと希望の就職先を見つけ、情報を得られるよう、就職相談や、なはし就職相談センターでの取り組みを行ってきたところであり、これからはしっかりと対応していきたい。
予算について、P5「財源確保について市長に全く政府や県と連携できていない点が最大の問題」とあるが、どういことか。	市長が上京をして担当大臣に会うとか、そういった要請行動をやるべきだったのではないかという話がありました。
予算について、資料 P 4（一般会計歳出決算額の内訳）の教育費 9.3%が、ほかの市町村と比べて本当に妥当なのか。 PTA が集める補助費に甘えて、予算が少なくなるか。	教育費 9.3%は妥当という見解になるかとは思いますが、全く少ないと議会としても感じています。ご要望をしっかりと受け止めて、できるだけ P T A に負担をかけないで、教育費を確保するように議会としてもしっかりと監視をし、答申をしてまいりたいと思っております。
これから特に学校は多目的に使われると思うので、今、新しくつくっている学校は、バリアフリーやトイレを洋式にするとか、その辺をぜひ議員さんから意見してもらいたいと思います。	那覇市の小、中学校の洋式トイレの割合が 30%を超えたところです。学校の建て替えの中で洋式に変えていこうという流れはできているが、それを待っているは何年かかるかわからないため何年までに何%洋式化するという目標を定めるよう、議会として要望しています。加えて、担当部署からも、トイレの洋式化の事業化に向けて関係部署と調整中である旨、答弁がありました。
予算をつけるのは議員なのか	企画財務部になります。

第2班:小禄地区(JA小禄)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
一括交付金の予算額と執行率、事業数はどのようになっているのか。 一括交付金が減っていく中で、現在行われている事業を、交付金が減っても市債を起こしても、一般財源を投入してもやる事業なのかどうかということも、ぜひ腹決めをしてもらいたいと思います。 交付金が減った場合にはちゃんと市民にも説明をし、これだけ市債を発行します、一般財源を投入しますということを、議員の皆さんに議論をしていただいて、その説明を市民の皆さんにもしていただきたいと思います。	一括交付金の市町村単位の総額予算で 312 億円中、那覇市のほうで 43 億 3,600 万円が配分になっており、事業を合計していくと、約 33 億 9,000 万円程度が事業化されており、そのうちの交付金のほうで 24 億 1,100 万円が交付されて、市の負担分で 6 億と 282 万円となっております。 執行率については、12 月議会での執行部からの答弁によりますと、「各年度の交付決定を受けた事業執行率は、平成 24 年度が 84.8%、平成 25 年度が 88.8%、26 年度が 91.2%、27 年度は繰越事業が全額執行と仮定した場合は 96.3%となります」という答弁がありました。事業の成果目標、達成状況については達成が 73.1%、おおむねの達成が 17.5%、約 9 割の事業が達成、またはおおむね達成という答弁がありました。 ただ、この事業をやりたいというチャレンジをして交付申請をした後に、交付決定がおりずに事業化に至らなかったため、配分額全てを結果的に事業化できたかというところではないと思います。執行率ではなくて、配分額はしっかりと使うべきではないかという議論とご指摘は今後、議会で議論する必要があると思います。 補足として、執行率に関しては単純に使いえなかっただけではなくて、入札の結果安くなったという場合もあり、執行率が 100%だから必ず正しいわけではないと思います。
パシフィックホテルの隣の県の運転免許試験場跡地を観光バスの待機場として使用する事業について、市のほうから J T B さんに業務委託をしてやっているところですが、それについてどういう議論があって、どうなっているのか	去年、実証実験として、総合事務局の予算により、那覇市と共同でパシフィックホテルの隣で行いました。今年は試験場跡地に県の施設が建設されるということでしたが、その計画が延びたということで今年は試験場跡地を県から借りて待機駐車場にしています。来年度からどうするかまだ決まっていないため、県、国、総合事務局も含めて知恵を出して協議会をつくって考えていかなければならないのではないかと考えております。

第2班:小禄地区(JA小禄)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
那覇市の小学校・中学校の2学期制、3学期制のメリット、デメリットについて、那覇市の教育委員会と市議会とで議論とかそういうのがあったかどうか。	那覇市では2学期制を導入しており、そのメリット、デメリットはいろいろあるかと思います。私どもの議会の中でも議論はしておりますけれども、特に行政が3学期制に変えようという話は今のところはありません。もう少し行政の動き、全体の動き、議会での議論を通してしっかりと検証をして、どちらがいいか議会としてもいろいろ議論してまいりたいと思っております。
指定管理者制度について、委託金だけではやっていけないという話がある。費用削減の面だけではなく、市民の多様なニーズに応じてNPOを育てていくなど、協働のまちづくりの面からも、指定管理者制度について議論していただければと思います。	指定管理の更新時にこの金額ではやっていけないという要望があり、当局を呼んで説明を受けました。その中で委員会として、しっかり指定管理を本当に採算が合うようにやるべきではないかという提案をし、その結果改めて金額を上げて提案する形になりました。指定管理者のあり方についても色々と検討する必要がある、今後もしっかりと行政を監視し、また、意見を述べて安心して指定管理ができるような方法を考えていきたいと思っています。
アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
市政なので自衛隊の話は必要ないと思った。止めるべき。	会場のご意見としても出ましたが、ご意見として承ります。

第3班:真和志地区(沖縄大学)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
(農連市場地区防災街区整備事業) 駐車場棟に大きな駐車場ができるということですが、そこからまちの中までのバスやモノレールの接続はどのように考えられているのか。	議会の中では、例えば観光バスの駐車場をどうするかなど、さまざまな議論はありましたが、車をとめて、それから歩いて町なかを散策する、買い物に行くという趣旨で今回は駐車場棟をつくっております。そこからさらにバスでというのは、特に考えられていないのかなという気がします。
(議会報告会のチラシが)どこかに貼ってあればわかるのだが、自治会に2つか3つ掲示板があるが、そこにも貼っていなかった。 前もってお知らせをぜひよろしくお願いします。	実は、議会としても全ての自治会長さんが集まる自治会長会議に担当が行って、「議会報告会がありますのでぜひご参加お願いします」ということで、ポスターの配布なども含めて、ご連絡は一応全ての自治会長の皆さんにお願いしてやっているんですけども、それだけではやはりなかなか難しいというお声も確かにわかりましたので、ご意見を伺って、検討させていただきたいと思います。
9月の市民の友で広報して11月開催では、大概の人はわからない。次回はもうちょっと親密に、多くの市民を集めることを考えてほしい。	市議会報告会を担当しているのが、常任委員会とは別に、広報参画部会というのがあり、報告会をやる中で一番の悩みは、どのように市民の皆さんに参加していただくかというのが、私たち議員も本当に頭を悩ませています。その中で、今回沖縄大学に協力をお願いして、学生の皆さん、また真和志地域の皆さんに来ていただけるのではないかと、ということで、今回この場所を選んだのもあります。 お声をしっかり聞きながら、市民の皆さんにもっと広報をやって、どのようにしたら来ていただけるか、引き続き意見をいただきたいと思います。

第3班:真和志地区(沖縄大学)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
真和志地域は特にバスの便が悪い。どこへ行くのにも不便なんです。お年寄り（外に）出なさいよ、と言っても出かけられないです。 （バス停上屋が）風よけにもならない、雨よけにもならない。日よけにもならないものがたくさんつくられています。 また、腰かけがないバス停がいっぱいあります。年を取ったら15分、20分立つのは苦しい。	バス停上屋の整備事業が一括交付金等を使ってこの2～3年前から、以前に比べると整備はされてきたが、実際に上屋の位置であるとか屋根の位置が適正でないために雨がかかったり、日差しが当たったりということはご意見を伺って私初めて知りましたので、きちんと調査できるかどうか含めて対応していきたいと思います。 バス停へのベンチの設置は、歩道の幅の問題もありますので、どうやったらそういうことができるのかどうか含めて、また委員会等の中でしっかり議論していきたいと思います。 補足：議会報告会後の調査結果 平成30年3月、建設委員会において調査を行い、担当課から次のことを確認しました。 ・バス停上屋（屋根）の大きさは、警察庁の基準があり、道路機能を阻害しない幅2メートル以下にする必要があります。また、風よけについては、警察庁の基準で、4面全部を覆うことはできず、片面は必ず開ける必要があります、風を完全に防ぐことは困難と考えています。日よけ、雨よけについては構造的に以上の様な制限があり、これらを満たす設計を考慮し、上屋の推奨案をまとめています。 また、バス停上屋を設置するためには、法令の規定により、有効幅員として歩道の幅が2.8メートル以上必要になり、固定式ベンチ（腰かけ）を設置する場合は、歩行者の安全も確保するため3.7メートル以上の歩道が必要となります。 すなわち、上屋の柱やベンチなどから歩道内で有効幅員が2.0m以上確保できることが必要となります。 上屋について、基本的にはバス事業者が整備するものと考えておりますが、市道分に関しては、条件に合う歩道については、那覇市としても整備を進めているところです。平成30年度以降は、約30基の整備を予定しております。 ベンチの設置については、市道分に関し、条件に合う歩道について整備を進めていきたいと考えています。

第3班:真和志地区(沖縄大学)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
市の職員さんの研修の状況というんですか、何か今の社会状況でどのように人材育成しようとしているのか。 実は議員さんより、職員の皆さんがもっと遠いところにいる感じがする。	議会の中でも、職員の研修や、学びの機会が減っているのではないかという議論があります。 かつて 3,000 人を要していた職員が現在、正職員 2,200 人となり、各自の仕事量も増えている中でどうやって人を育てていくのかというのは、行政側も非常に悩んでいるところでもあり、また議会でも予算等の審議を通じて、しっかりやるべきではないかということは申し上げているのですが、抜本的な課題解決に至ってないという現状はあります。
議員の皆さんの議論の中で協働がうまく進んでいるという認識なのか、それともどんな課題があるという認識で協働を捉えていらっしゃるのか。 協働というのが絵に描いた餅になっていて、口を悪くすれば、市民の情熱を搾取しているような感じにも見受けられることがある。	協働については各議員それぞれ議会質問でもよく出ておりが、議会全体、例えば委員会等で那覇市の協働をどう考えていくのかという詰めた議論はまだできてないところがありますので、きょうのご意見を参考にそういう議論ができればなと思っております。
沖縄は大学進学率が全国最下位か、あるいは最下位から2番目、3番目というところです。一番その実効性があるのは大学の学費を安くする。あるいは奨学金を支給することだろうと思います。その一環として沖縄大学の公立化、ぜひとも那覇市立にしていきたい。	補足 正式な申し入れではないので、回答は差し控えたいと思います。
新市民会館について、やっぱり認知度からしても与儀がいいと思っています。もし与儀にさせていただけるなら、駐車場をもっと増やしていただきたいと思っています。	平成25年に候補地が久茂地小学校跡地に決まり、今事業が進んでおりまして、実施設計が今年度で終了する予定です。来年度から建設に着手するという段階になっております。 議会と行政だけで決めたのではなく、市民の皆さんへの説明や意見交換も経た上で決めたということなので、今のところご理解をいただきたいと思います。 那覇市としては、説明が今まで十分になされていなかったという、議論が議会の中でありまして、もっと市民の皆さんに理解をしていただこうという努力をしております。

第3班:真和志地区(沖縄大学)

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
議会の何をテーマとして実施されるかが分らないと、行く意欲が高まらないと思いました。 年4回とか定例化して、「今回はこのテーマ！」等わかりやすいと、参加しやすいのではないかと思います。	報告会テーマや報告内容、広報の方法など工夫していきたいと思います。
市民の呼びかけが不足しています。	多くの市民が参加できるよう、様々な方法を検討していきます。
新市民会館の駐車場 60 台はやっぱり少ない思います。	ご意見として承ります。
救急車の利用で、タクシー代わりとは思っていませんが、小児 #8000 ではアナウンスがあるんだと知りました。もっと認知度を上げて「どうしたらいいの？」に寄り添っていただけると、子育てママ、パパの不安もよくなると思います	広報・周知に努め、当局へも伝えていきます。
意見を聞くなら、少人数でのグループテーブルにするのもよいかと思います。	ご指摘ありがとうございます。報告のやり方も今後議論していきたいと思います。
（会場は）駐車場のあるところや交通の便利な場所にしたらどうでしょうか？	ご意見として承り、今後検討していきたいと思います。
自治会組織率低いのに、自治会呼びかけでいいの？	自治会との協働は大変重要だと考えております。様々な広報のやり方を議論していきたいと思います。
大学市立化が議題となるのを楽しみにしています。	正式な申し入れではないので、回答は差し控えたいと思います。
どの行政にも言えることですが、市民にとって「何をしているのか？」ということがわからないと思います。そのためにもこのような報告会をはじめ、市民の声を直接聞く機会や交換会が大切だと思います。 また、様々な広報（報告会、イベント、ネット、既存のメディア）活動を行うことも大切だと思います。 議会の「こんなことをしたんだ」と、市民の「何をしているの？」を繋げることが必要ではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。 この議会報告会を中心に市民の皆様と、広く意見交換ができる場を設けていきたいと思います。
新聞、マスコミではわからない、細かいことがわかるようになった。市民会館、農連市場⇒市街へなど。はじめての参加だが、この報告会をもっと頻繁にやってもらいたい。市民の市議会にしてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。 市民の皆さまにわかりやすい内容にできるよう努めたいと思います。
せっかく市議会報告会ですので、もっと多くの市民を対象にして報告してほしいです。	多くの市民が参加できるよう、様々な方法を検討していきます。

第3班:真和志地区(沖縄大学)

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
今回、初めて報告会に参加させていただきましたが、自治体と住民がこんなに近い距離で意見交換を行っていることにまず驚きました。各参加者が、それぞれの意見を持ち、また主張する姿とともに、9人の議員さんが一つ一つの意見を真摯に受け止める姿を見れて良かったです。 今回で第10回になるというこの報告会も、今までずっと年2回、議員と市民が意見交換をしてきたからこそ、今の暮らしやすさであり、生活があるのだと感じました。欲を言うのであれば、学生との関わりを持ってほしいです。	ご意見ありがとうございます。 幅広い世代の方に参加していただけるよう、努めていきます。ご意見として参考にさせていただきます。
市政の課題や、市民の感じていることがこの場で聴けてよくわかった。新聞やテレビのニュースだけでは理解しにくいことが納得できた。市民 議会 役所三位協力、理解が深まり、より良い社会づくりにつながる取り組みだと思うので、続けていってほしい。	より良い那覇市となるよう、議会として努めて参ります。今後ともご協力のほど、よろしくお願いします。
議会報告会が盛り上がるためには、やはり議会での議論が盛り上がる必要があると思います。例えば、市民会館の件でいえば、もっと市民をまきこむような議論をしてはどうでしょう。現在、国際通りには観光客が主に歩いていますが、新市民会館により地元のナーファンチュが増えれば面白いと思います。フランスのパリのカフェで、パリっ子達がいるからこそ観光客はフランスの雰囲気を楽しめます。那覇をそんな観光都市にすると議論があれば市民も盛り上がるのではないのでしょうか？今後の議会活動を期待します。	ご意見として承ります。

第4班: 首里地区(首里支所)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
一般会計及び特別会計の決算について、民生費がかなり多いということがよくわかったのですが、その中で、児童、高齢者、障害者などの支援、生活保護などの社会福祉、だいたい大きくいろいろあると思うのですが、それぞれがもしわかれば教えていただきたい。 特に、児童にどれぐらいいっているかとか、もう少し細かくわかると嬉しいなと思います。	今度調べて後ほど報告をさせていただきたいと思っています。
救急車の搬送がとても増えているということがよくわかりました。 沖縄（県）とか那覇市が今後どうしていくのかということが、もし、話し合われていれば、教えてください。	我々のほうではまだ議論されておりませんので、ご意見いただいたぶんをしっかりと反映させていくように頑張ります。
救急隊が平成 30 年度に増隊するのはいいんですけども、問題は人員がどのぐらい増えるのか、実は救急隊は今、那覇市は3部体制で回っていますので、最低の救急隊員は1隊3名ですから、最低でも9名増員をしないとイケないと思うのですが、この9名の増員が確保されているのか。	ご質問にありましたように1隊増隊するという場合は、正規職員が3人、3部制ですので9人必要です。しっかり人員を確保しなさいということを3回ほど聞いているのですが、確保する旨、現在財政課と調整をしているという答弁で今、とどまっております。 当局としては確保したいという意思表示は何度も示しております
新市民会館に関連して、一銀線の現状と今後の整備方針は、わかるのですが、新市民会館建設前にできるのか、そのあとにできるかというところの事業スケジュールをもう少し明確にしてもらいたい。 全国的に公共事業、つくったあとの失敗事例が多くなっています。新しく整備したあとの運営計画が、当局から話が出たのかということについて伺います。	平成33年度に市民会館が完成し、完成した後もこの拡幅工事の事業等は何年間か続くという状況になる見込みとなっております。 拡幅について事業用地取得交渉をそれぞれの地権者とやっておりますので、これも時間を要することになります。 市民会館ができて、一銀線が落ち着くまでには、しばらく時間がかかるもの見ております。

第4班:首里地区(首里支所)

市民意見等（要旨）	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
資源ごみについて、紙、段ボールとかビンとか缶とか、回収が遅いような気がする。昼過ぎることもよくあり、個人の民間の方がその前にごみを回収してしまうので、個人情報洩れとかも気になりますし、資源ごみの回収をもうちょっと早めることはできないか。	資源ごみの回収時間が遅いということで、今の時間がどうなっているのか、地域ごとに調べて、早めに回収できるよう、当局に要望させていただきたいと思います。 ただ、資源ごみで問題になっているのが、この遅い回収というよりも、缶など資源の持ち去りが、今かなり問題になっております。いったん出された資源ごみは市民の財産、市の財産という形になりますので、これを持ち去られないよう早めに回収をする、個人情報を守るためにも早めに回収するという形でしっかり努力をしてまいりたいと思います。 ご指摘大変ありがとうございました。 補足 厚生経済常任委員会において、所管事務調査を行う予定です。
市の調査でボランティアなどにも参加をしていない、閉じこもっている高齢者が 56%ぐらいでした。 やはり出られないのは足がないから。高齢者にとって一番不自由なのはこの交通体系。できればこの首里地域で高齢者が自由に出られるような交通、乗り合いバスをぜひご検討できないだろうか。	乗り合いバスの問題ですが、今、真和志地区では実際に行われておりますけれども、首里のほうでこれをしていくという計画は今のところありません。お話をお聞きして、交通弱者の方々に対して、真和志と同じように乗り合いバスの需要に対しての供給ができないのか、持ち帰らせていただいて、那覇市（当局）のほうにも訴えてぜひ実現できるような方法で議員が共に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。 補足：議会報告会後の調査結果 平成 30 年 3 月、建設委員会において調査を行い、担当課から次のことを確認しました。 ・首里地域のコミュニティバスや乗り合いタクシーについては、バス会社やタクシー会社の営業面での自主的な運行が継続できるかというのが課題になります。 今、真和志地域で運行されている乗り合いタクシーについても地域の拡大につなげられるかどうか、という検討になると思います。現在は乗り合いタクシーの利用区域を、すぐに首里地域まで拡大することは困難な状況であり、真和志地域の状況をみながら今後検討していきたいと考えています。

第4班:首里地区(首里支所)

市民意見等 (要旨)	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
失語症の人たちなど、意思が伝えられない人たちへの支援体制がどうなっているのか。	まだその件について勉強していない、議会全体としてもまだ深めていないところであります。 貴重なご意見として持ち帰って、今後に生かしていきたいと思います。
市民同士のネットワークを戦略的につくっていったらと思います。例えば、哲学カフェなど、地域に歩ける範囲でたくさんあったら、そこに集えて自由な話がたくさんできて、そこからいろんな活動も自然に生まれていくんじゃないかと思っているので、そういう戦略をもってそういう場所をたくさんつくっていくための予算を盛り込んでいただけたらなというふうに思っています。	今、那覇市全体として、歩いて行ける小さなコミュニティをぜひつくるべきだというのが大きな戦略です。具体的に言いますと、小学校区のまちづくりです。これが今おっしゃっているような、核になれるような、例えばインターネットを活用して情報を共有したいという人たちに対して、技術者が援助できるようなことも新しいご提案だというふうに理解いたします。 貴重な経験として持ち帰って、議員同士でまた今後の政策提言に生かしていきたいと思います。
なは女性センターの駐車場の利用時間について、当初、1時間の利用(まで無料)だったんですが、考慮していただいて2時間にいただきましたが、会議や講演会を準備・片づけを含め2時間で終わらせるというのは、無理があって、なかなか時間内に収めることができない。ひとつ考慮していただきたい。	女性センターのこの駐車場の利用時間の緩和ですが、この建物はNPO、あるいは市民団体の方たちが多く利用されるスペースになっておりますので、活用される皆さまから、よく駐車場の利用時間について指摘がこれまでもございました。 執行部に対して、もう少し柔軟に対応できるようにということで声を上げさせていただきます。
那覇市の男女共同参画に対する広報誌が、寂しい感じがして、皆さんが一生懸命見たいと思うような内容ではございませんので、充実したものができるような方向にもって行っていただきたい	女性センター便りのことだと思います。予算がない中で女性センターも本当によく頑張っておりますが、ご指摘いただきましたので、さらに充実してほしいということをし、しっかり要望させていただきたいと思います。
(なは市民協働プラザ) 1階の空いているスペースは、もうちょっと有効利用ができないか。もったいないなと思っております。	屋外になっておりますスペースですが、多目的なイベントが活用できるのかも含めて、提案をさせていただきます。
猫の糞害による近所トラブルがある。	市が積極的に行っているのは、那覇市の獣医師が不妊・去勢をしてリリースをすることによって、これ以上猫が増えない環境をつくるということです。 もし、お近くに野良猫がいる場合は、猫が入らないような超音波を出す機械を無料で貸し出しをしていますので、環境衛生課に連絡し、ぜひ相談していただきたい。

第4班: 首里地区(首里支所)

市民意見等 (要旨)	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
安全・安心推進事業で保安灯をもっと増やそうということで、新規に保安灯を設置したら全額市が負担してくれるという話があって、新規に4カ所申請したんですけども、そのあと何ともまだない。どうなっているか。	当局に確認をして後日、個別にご報告を申し上げたいと思います。
包括支援センターが増えることをお願いしたいのですが、18に増えると聞いているのですが、首里地域はどのように包括支援センターがまとめられていくのか。	来年度の4月1日から首里地域は3つになります。石嶺2丁目から4丁目。大名、石嶺1丁目から赤平・平良・大名。そして首里ができます。1カ所増えると思います。
J A城下町支店前の横断歩道のところは、よく交通トラブルがある。押しボタン式の信号をつけて、という声があります。どなたか状況を視察していただければ助かります。	警察に要請をしたことがあるが、10mほど先に信号があり、その距離が非常に近いため、警察がなかなか動いてくれないというのが実情です。 粘り強く交渉しながら、今後当局と警察に対してもっと強力でプッシュしていくということを含めて、なるべく実現できるような方法で早めに市にも訴えていきたいと思っている
龍潭通りの29号線、山川町と交差点から中城御殿の角まで、AEDの設置が1カ所ありません。 検討いただいて、設置に向けてご協力をお願いしたいと思います。	山川町から中城御殿までAEDがないということについては、これははっきり言ってまだ検討したことがありませんので、持ち帰らせていただいて、設置できる場所も市と調整をしながら、市民の要望として取り上げて設置できるような方法をとっていきたいと思っております
佐藤惣之助先生の詩碑の移設の件ですが、川崎市議会からの要請に基づいて、那覇市議会が議論を重ね、移設に向け採択されたということですが、川崎市議会からのこの要請はどういった経緯か、なぜ移設しないといけな か、費用はどれぐらいかかるのか、それと、首里城近くであったらどこでもいいのか。 池端町の市の土地に移設したいというような話があ って、池端町辺りの狭い地域に持ってきて、詩の趣旨にそぐわない。そういう話が持ち上がっている。 この土地というのは個人土地だったのが更地になったので、子ども達の歩道もないし、せめて歩道だけでも譲ってもらえないかということで、地域が3年前から取り組んで、やっと地権者から承諾を得て那覇市が買い取ったのです。本来は、その土地を取得の趣旨が違 うし、地域が取り組んできたのは何なんだと、地域は全部反対しています。	詩歌碑の詩は佐藤惣之助さん、碑は浜田庄司さんがつくられ、お二人とも川崎市の出身ということもあって、昭和4年に、川崎市から寄付された文化的価値のある非常に貴重なものです。 首里城から詠んだ詩ですから、これをぜひとももと設置されていた首里城に持ってきてもらいたいというのが川崎市からの要望です。 現在いろいろなところを検討中です。那覇市としては、なるべく川崎市民の意向に沿った形で移したいのですが、移す場所が決定をされていない状況です。皆さん方の地域に移すというのは、まだ決定事項ではありません。 当局には地域の意向をお伝えします。

第4班:首里地区(首里支所)

市民意見等 (要旨)	議会(議員)の発言要旨及び補足説明
平成 26 年に、金城砂販売所が移転するということが決定したのですが、行政の取り組みがかなり悪く、延びてしまい、平成 31 年の 12 月までに、営業を停止するという事になった。前回もあったように、行政が決定しても議員の皆さん方が見回りしていないと、また同じような結果になる。 今回は、議員の方々が可決(陳情採択)していますので、平成 31 年の 12 月までに完全に履行していただきたい。	前回は移転についての含みがあった条件が残されていました。今回の平成 31 年ですから 2019 年のものは含みはありません。条件はありませんので、これは確約書をとっていますから、この時点で廃業です。ここでの営業はできませんので、これについてはしっかり議会としても議決した以上は、100% 履行できるように注視して、住民の皆さんのこの不満がその時点で解消できるように、取り組んでいきたいと思います。
伊江御殿が整備されるということで、金城砂販売所の土地を買い上げていただいて、これを駐車場に整備していただきたい。	土地を買い上げるというご期待に沿えないかもしれません。
自治会の加入率をアップできる方策はないのかということを、せめて 35% ぐらいいけるように議会のほうでも考えていただきたいなと思います。	小学校のコミュニティづくりを展開して、自治会の核づくりをしながら、また加入率をアップするよう、またご指摘のとおり、それぞれの委員会でしっかりと受け止めて加入率アップについて取り組んでまいります。
私のところ(大名市営住宅)は、将来6棟の高層ビルができる予定ですが、老人福祉センターに行けなくなった、介護状態に近い人のために、1つの棟に1部屋ずつ交流センターができないのか検討していただきたい。 死ぬまで大名市営住宅に住んでよかったなという思いをさせたいなと自治会長として思っております。	今後の設計の中で、どういう形で反映できるのか、これからの高齢化、福祉についての貴重な提案でございますので、しっかりと受け止めて議会で議論をしながら、安心・安全に暮らせるまちについて取り組んでまいりますので、どうかご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第4班:首里地区(首里支所)

アンケートより (要旨)	説明および今後の対応
国が進める「我がごと、丸ごと」をぜひ庁内でも早めに進めていただきたいと思います。庁内会議をオープンにして、縦割りの解消を市民を入れて検討していければいいなと思います。住みよいまちづくりを期待しております。	参考意見として承ります。
意見交換会を重点化した方が良いと思う。 議員の人数を減らして、各地区の回数を増やす(日程固定する)	ご意見ありがとうございます。 検討していきたいと思います。
那覇市の年か少子高齢化が進んでいるので市民のネットワーク作りは急務と思います。 若い人からお年寄りまで、誰でも気軽に入れて自分の考えを述べられる哲学カフェみたいなものをたくさん作り、政治に関する話題に市民が興味を持てるようにしてほしいです。 常駐コーディネーター等も必要と思います。こういうものに予算を作っただけでないでしょうか。	ご意見として承ります。
自然災害が起きた場合、復興の早さや住民の避難生活の質は、自治体の首長の緊急時の対応力や判断力が大きく影響します。(熊本地震でも、自治体ごとにそういった差が大きいようです) 災害時にどういう対策を考えているか、計画書を作成しているかなど、普段から議員の皆さんから問い合わせ続けていただきたいと思います。	議会においても市長に提言していきます。
議員の方の文書・通信・交通滞在費(政務活動費?)については、もしあれば、領収書を持って来れば支払う方式にすべき(最初から支給することはしないで)	各派代表者会議に回答依頼
市職員へのパワハラはないですか?	議会事務局に対して、そのような報告はありません。
地元でこのような”市民と議員でゆんたくさびら”のような意見交換会を開催していただくことは、大変喜ばしいことだと思いました。 市民の声がすぐに通ることは那覇市にとっても前進できると思います。 もっと多くの市民が参加のできるように考案していただけるとさらに市民の声が届く那覇市になると思います。	多くの市民の皆さまに参加いただけるよう工夫したいと思います
今回の話し合いが、議員が今後どのように取り組まれて、成果が出るのか期待しています。	市民皆さまの市民生活が向上していくよう、議会として努めていきます。

第4班:首里地区(首里支所)

アンケートより（要旨）	説明および今後の対応
議会報告会の回数を増やしてほしい。 時間が短い。	ご意見として承ります。
写真くらい撮れるようにしてほしい。	ご意見として承ります。
「市民に伝えたい内容」なのか、「自分たちのやった仕事を伝える」なのか、何をしたい会なのか明確にしたらどうですか？	ご意見ありがとうございます。 報告内容を分かりやすいものにするよう努めて参ります。
駐車場無料を拡大するのではなく、コインパーキングにして、収入に出来るようにした方が良いと思います。	ご意見として承ります。
報告会の資料を前もって配布可か否か。	ご意見として承り、検討したいと思います。
参加者が少ないのが残念。もっと参加者を増やす工夫をしてほしい。	多くの市民が参加できるよう、様々な方法を検討していきます。